



厚木ロータリークラブ週報

JAPAN 第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会 副 幹 副 会	会 報・IT	長 幹 事	前 山 栗	島 中 金 井 本 原	憲 雄 晃 久 幸	司 太 陽 介 良
-----------------------	-----------	-------------	-------------	----------------------------	-----------------------	-----------------------

よいことのために手を取りあおう

2025～2026 国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

例会場 厚木商工会議所 5F 大会議室

例会日 毎週火曜日 12:30～

事務所 厚木市栄町1丁目16番15号 厚木商工会議所内

<http://www.atsugi-rotary.jp> メールアドレス info@atsugi-rotary.jp TEL.046-222-5811 FAX.046-222-5821

第3137回例会(11月4日)☆司会 市川信也SAA

点鐘 …前島憲司会長

斉唱 …君が代・厚木ロータリークラブの歌

ゲスト紹介



RI第2780地区 2025～2026年度ガバナー
松下 孝様(伊勢原RC)



RI第2780地区 2025～2026年度ガバナー補佐
松本 豊様(厚木県央RC)

委員会報告

◎青少年カウンセラー 常磐重雄君

◎歴代会長会 栗原良幸直前会長

今日のお祝い 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

* 配偶者誕生日
西瀛洋一夫人

* 結婚記念日
黄金井陽介君
和田勝美君

今日の例会 (2025年11月11日)

「認知症とのかかわりについて」

担当：原田忠洋君

次回の例会 (2025年11月18日)

「認証状伝達記念例会(移動例会)」

担当：前島憲司会長

スマイル

松下 孝様(伊勢原RC)

本日はガバナー公式訪問に伺いました。宜しくお願
いいたします。

松本 豊様(厚木県央RC)

本日はガバナー公式訪問です。松下ガバナーとの貴
重な時間を共有して下さい。

前島憲司会長・黄金井陽介幹事

皆さんこんにちは。秋晴れの3連休になり、本日もす
がすがしい朝でした。さて、本日は、RI第2780地区
第6グループガバナー 伊勢原ロータリークラブの松
下様、ガバナー補佐 厚木県央ロータリークラブの松
本様をお迎えしております。ようこそ厚木クラブへ。
ごゆっくりしてってください。松下ガバナー、卓話
よろしくお願い致します。勉強させていただきます。

黄金井康巳君

皆さんこんにちは。今年もいよいよ新酒の季節到来
です。本日より、「盛升 新酒しぼりたて」の販売を開
始いたしました。いっさい加熱処理をしない生酒(な
まざけ)としてご準備しております。今だけのフレッ
シュな味わいです。どうぞよろしくお願いいたしま
す。

難波有三君

松下孝ガバナー、松本豊ガバナー補佐、本日はクラブ
訪問ありがとうございます。より良い奉仕活動を進
めるため、ご指導よろしくお願い致します。

壽永純昭君

松下孝Gご多忙中のクラブ訪問誠に御苦勞様です。昔
から「有言実行」の貴殿です。増々のご活躍を願っ
ております。健康第一！

UNITE
FOR
GOOD

西島洋一君

壽永さんしばらくです。お元気そうなので安心しました。

柳田純昭君

結婚記念日のお祝いを有難うございます。50年になりました。これからも健康に気をつけて仲良く60年を目指したいと思います。

小林 透君

壽永さんようこそ。会えてうれしいです。

常磐重雄君

松下ガバナーようこそ厚木RCへ。公式訪問のお話し、楽しみにしております。

滝澤 勇君

事業所開設祝をありがとうございました。

今日のお花



スターチス(前島憲司会長)

例会「ガバナー公式訪問」

担当：前島憲司会長

講師：2025-2026年度ガバナー 松下 孝様



簡単に自己紹介させていただきます。所属クラブは第7グループの伊勢原ロータリークラブでございます。出身は福井県でございます。職業分類は、情報システムで、伊勢原にてミャンマー人を中心にプログラム開発を行っています。

最近RIは、奉仕活動を広報する事で会員が増えるという話が先行しており、奉仕活動そのものがロータリーの本質・目的だと理解している方も多いと感じています。

ロータリーの根本は、自身が物心両面で成長するため行動すること(I serve)だと思います。

私の座右の銘は「積善余慶(積善の家には必ず余慶あり)」です。中国の古典「易経」に出てくる文言です。「善行を積み重ねた家には、その結果として子孫に必ず幸福がおとずれる」つまり、「子孫に」幸福が訪れるというのです。

会員増強・維持について

このところRIは会員増強・維持について、様々なアプローチをしてきています。主婦などの無職の会員を認め、事実上の職業分類を有名無実化しました。我々のようなクラブは伝統的なクラブと呼ばれ、さまざまな形態のクラブが提案されています。採択の有無はクラブに判断がゆだねられていることは認識しておいてください。

会員増強・維持の第1の目的は、クラブの存続です。ロータリークラブにはその創立年に関わらず、クラブ独自の文化と歴史があります。ロータリークラブは、既存の会員だけのものではありません。新しい会員を迎えることで、社会的装置としてロータリー活動を未来に引継がなければなりません。

ここでの、社会的装置とは、社会の中で一定の役割を担い、組織として継続的に機能し、個人の行動を支えたり方向づけたりするものです。

第2の目的は、やはり会員の学びと成長のために、新しい会員の経験と知識が必要だということです。既存の会員も日々の活動の中で様々な学びと経験をし、成長されています。

しかし、新しい会員を迎え入れるという事は、新会員から経験を学ぶとともに、新会員に経験を伝えられる双方にメリットがあるということです。一人でも多くのロータリアンと触れ合うことはロータリーの最重要目的です。他クラブの会員との交流も併せて必要だということをご理解いただけたと思います。市内、グループ内での行事や、地区の委員会やセミナーへの参加を通じて、ロータリーの広がりを実感していただければと思います。

更に、費用はかかりますが、ロータリー研究会や国際大会を通じてロータリーがワールドワイドだと感じていただけたと思います。台北国際大会への大勢のご参加をお願いします。

会員維持については、最近では会員増強以上に、クラブの関心毎になっているのでは無いでしょうか？

会員が高齢化する中、健康上の理由、経済的な理由、ご家族の問題でおやめになる方もいらっしゃると思います。この様な個人的な原因でおやめになる方は仕方ないとしても、ロータリーの魅力を知らずにおやめになる方を一人でも減らすことを皆で考えて実行して行きましょう。

ロータリー財団につきまして

The Rotary Foundation (TRF) は、世界中のロータリアンの寄付で支えられている非営利財団です。

皆さんの寄付の使われ道は多岐に渡っています。寄付の種類についてお話します。TRFは4つの寄付を基に活動をしています。年次基金、恒久基金、遺贈基金、ポリオプラス基金です。

年次基金は寄付された3年間の運用を経て、活動資金として使われます。恒久基金は定期預金のようなもので、基本的には元本を崩さず、運用益のみを活動資金として使うものです。多少の浮沈はありますが、平均6%の運用益を出しています。遺贈基金は、遺産の一部をTRFに寄付する制度です。最後にポリオプラス基金です。

世界のロータリアンの最優先項目は「ポリオ撲滅運動」です。世界のロータリアンの寄付に対し、その2倍(年間1億ドルを上限に)ビルゲイツ・メリンダ財団から寄付されます。

ロータリー財団は、寄付が直接プロジェクトに使われる率は90%以上であり、ユニセフや日本赤十字社に比べても高い率を維持しています。

米山奨学会について

ご存知の通り、米山奨学会は1952年東京RCが米山梅吉氏の偉業を讃えて設立。海外からの留学生を日本全体で支援する日本が世界に誇るプロジェクトです。

確かに、母国の政治・政策は大変気になるところですが、ロータリーは、国際理解を推進する団体である事を念頭に置いていただけたらと思います。後でもお話ししますがウクライナのロータリーの話をした時、「ロシアにはロータリーがあるの」と言う質問がありました。勿論、ロシアにもロータリーがあります。侵攻により新規クラブの設立は禁止されていますが、2223地区800名弱の会員がおります。国際大会でも肩身が狭そうですが彼らも応援したくなります。

危機管理につきまして

青少年事業から始まった危機管理ですが、ロータリアンを取り巻く様々なリスクを網羅するようになりました。日本のロータリーにありがちな潔癖な対応が一部過剰では？という声がある事も事実です。

ロータリーが関わるボランティアに対してもロータリアン同様の対応を求めることは大変困難ですが、特に青少年に対するロータリーの姿勢を根気強く訴えることは公共イメージの向上にもつながるのでは無いでしょうか？

ICC (Intercounty Committee : 国際共同委員会) について

国際共同委員会は、RI直轄ではなく、複数の地区やクラブが国境を越えて協力するために設置される特別委員会です。

その目的は、友好クラブ(姉妹クラブ)の交流促進、国際奉仕プロジェクトの企画・実行、青少年交換や財団の国際的なプログラム支援、災害支援や人道支援での国際協力の調整などです。

今年度のガバナー会では、2520地区(岩手・宮城)の仙台RCのウクライナ支援をきっかけにして、日本の複数の地区(最終的には34地区)とウクライナの2232地区との間でICCを締結しようとしています。

締結は覚書ですので法的拘束力はありません。事務局費用(当面无料)以外はプロジェクト毎の負担以外はかかりません。活動はあくまでクラブ単位であり、地区が実際にプロジェクトを行うことはありません。

第127回厚木RC親睦ゴルフコンペ

日時 2025年11月5日
会場 本厚木カンツリークラブ
優勝 畑中雄太君



お花見コンペは本厚木CCにて4月1日 9時半、アウトコーススタートで、5組予約しています。
会員のご家族も奮ってご参加下さい。

出席報告 <会員 34 名、出席対象 32 名>

10 月 21 日例会 確定出席率 90.00 %	11 月 4 日例会 出席 30 名 欠席 3 名 出席率 93.75 %
<事後メイク> 秋岡聡行君(10月21日／厚木中RC)	<事前メイク> 前田豊一君(10月29日／厚木中RC)
	<欠席> 宮本勇介君・秋岡聡行君